

# 行書のO&A その4

山梨大学教授

宮澤 みやざわ

正明 まさあき

〇2 中学校国語科書写では、楷書に調和する仮名と行書に調和する仮名を学習しますが、どのような違いがありますか。

A 仮名には、平仮名と片仮名があります。平仮名は漢字の草書体から作られた文字であり、片仮名は漢字の楷書の一部分を取り出した文字です。したがって、片仮名は楷書の筆使いとほぼ同じだといえるので、楷書や行書と調和させる際にそれほど工夫は必要ありません。問題は平仮名です。

111111 学校教育で学習する平仮名の書きぶりの種類(平仮名には書体の区別がありません)について確認してあげましょう。

小学校国語科書写…楷書に調和する平仮名  
 小学校の漢字学習では、社会生活で多く用いられていること、文字の骨組みが明確で学習しやすいことなどの理由から楷書で学習することになっています。したがって、平仮名も楷書に調和するものとして学習することになります。

中学校国語科書写…楷書に調和する平仮名及び行書に調和する平仮名

中学校では、楷書に調和する平仮名とともに速書きとしての行書を学習するので、行書に調和する平仮名を学習することになっています。

高等学校芸術科書道…平安時代を中心とする本来の平仮名

高等学校の書道では、「仮名の書」というジャンルで、芸術にまで昇華した平安時代の平仮名を主体に学習します。「漢字仮名交じりの書」のジャンルでは、楷書や行書に調和する平仮名も扱います。

## 平安時代の仮名



高野切第一種 伝紀貫之(?) 九四五(十一世紀半)は高知県所有 土佐山内家宝物資料館蔵(部分)

さて、平安時代に完成をみた平仮名は、草書の曲線的筆使いや省略された字形を踏まえて作られた流動感あふれる文字ですから、草書とは当然調和します。しかし、草書に比べて直線的筆使いで構築的の楷書とは調和しにくいといえます。本来の平仮名と楷書とは水と油の関係のように遠い存在にあるといってもよいでしょう。行書は、草書と楷書の中間に位置する書体ですから、楷書よりは本来の平仮名に近い存在といえます。

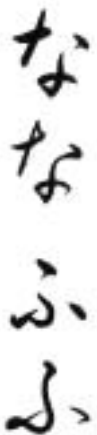
このように平安時代の平仮名は楷書・行書には調和しにくいといいますが、楷書に調和する平仮名、行書に調和する平仮名がそれぞれ考えられて今日に至っています。これらの関係を次に図式化してみましましょう。

楷書に調和する平仮名では、始筆や終筆の筆使いを楷書に近づけ、連続性の強い本来の平仮名の線や部分を切り離し、楷書のように点画としてカウントできるようにします。また、流動的の字形を矩形に近づけます。行書に調和する平仮名では、本来の平仮名の連続性のある筆使いや流動的の字形を少し残して調和させます。それらの特徴を楷書に調和する平仮名と比較して次に示します。

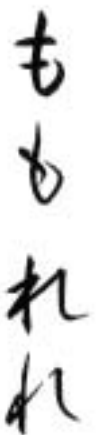
### 終筆の方向・形の変化



線を連続して書く



線を省略して書く



## 漢字



## 平仮名



楷書に調和する平仮名 行書に調和する平仮名 平安時代の平仮名